

下水熱利用プロジェクト構想構築支援事業 提案の募集要領

1. 趣旨

(1) 下水熱利用プロジェクト募集の目的

近年、我が国のエネルギー需給は逼迫しており、徹底した省エネルギー対策と再生可能エネルギーの飛躍的な導入が求められている。

一方、下水熱は下水と大気との温度差エネルギーであり、冷暖房や給湯等に利用することによって大幅な省エネ・省CO2効果が発揮される。また、下水は、熱需要の多い都市内に安定的かつ豊富に存在しており、定常的に使用できる熱源としての魅力がある。さらに、「都市の低炭素化の促進に関する法律」の成立（平成24年8月）により、民間事業者が下水熱利用を実施することが可能となったところであり、今後、まちづくりの一貫としても、下水熱利用の推進が重要である。

欧州においては、ドイツで30件、スイスで80件等、普及が進んでいるにも関わらず、我が国では、これまで、下水熱利用の事例は少ないことから、下水熱利用に当たって必要となる、地域の関係主体の連携や役割分担、各種手続等について、モデルとなるようなプロジェクト構想の構築が求められている。

このため、今般、他地域のモデルとなるような下水熱利用プロジェクト構想の提案を募集し、官民学、国と地域の知恵を結集して、実現可能性の高いプロジェクト構想の構築支援をおこなうもの。

(2) 事業の概要

本事業においては、まず、下水熱利用プロジェクト構想の提案を公募する。次に、各地域からの提案については、「3. 選定に当たっての視点」に基づき、下水熱利用推進協議会¹の下に設置する「下水熱利用プロジェクト構想構築支援分科会」において有識者により審査し、選定する。さらに、選定された提案については、有識者からの助言を踏まえつつ、各地域の主体間で連携し、課題についてもその解決に向けた検討を行う等により、提案内容の具体化を図る。なお、選定された提案の団体は、「下水熱利用プロジェクト構想構築支援分科会」における最終報告会及び、ご希望に応じ、一般向けに開催するシンポジウムにおいて、構想の発表をおこなっていただく。本事業のスケジュールは以下のとおり。

(スケジュール)	
平成25年7月2日	: 公募開始
平成25年8月2日	: 公募締切
平成25年8月下旬	: 提案の選定（下水熱利用プロジェクト構想構築支援分科会）
平成25年8月下旬～	: 事業構想の具体化に向けた助言（2回程度を予定）
平成26年1月下旬	: 現地における関係主体からのヒアリング（有識者等）
平成26年1月下旬	: 最終報告会
平成26年2月下旬～	: 構想とりまとめ、シンポジウム
3月上旬	

¹ 協議会 HP : http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000240.html

また、下水熱利用プロジェクト構想の実現に向けて、構想の内容に応じ、下水熱利用推進協議会に参画する関係省庁（国土交通省・資源エネルギー庁・環境省）が連携して支援を行う。ただし、関係省庁の施策の活用の当たっては、別途当該施策を所管する省庁の審査・採択が必要となる。

2. 応募者

以下の主体が下水熱利用プロジェクト構想を作成し、応募するものとする。

- ①地方公共団体（複数も可）
- ②地方公共団体と民間事業者等との共同体

3. 選定に当たっての視点

提案の選定に当たっては、以下の視点を踏まえ、下水熱利用プロジェクト構想の内容を総合的に評価する。

- ①実現可能性
 - ・提案される下水熱利用プロジェクト構想に対する関係主体の熱意があるか。
 - ・構想の事業形態は、実現可能性の高いものとなっているか。
- ②期待される効果
 - ・提案される下水熱利用プロジェクト構想の実現により、プロジェクトを実施する地域にどのような効果が期待できるか。
- ③先導性
 - ・提案される下水熱利用プロジェクト構想が、全国のモデルとなるような取組であるか。
- ④実施体制
 - ・自治体・事業者等関係主体の連携により、下水熱利用モデルの具体化に係る取組が継続的に実施できる体制が構築されているか。

4. 提案の内容

下水熱利用プロジェクト構想には、上記を踏まえ、以下の事項を様式1に記載するとともに、様式2において様式1の内容の要約版を作成する。

(1) 背景・目的

- ①地域の特性
 - －対象地域の範囲、下水熱利用構想構築の視点から重要と考えられる社会的・地理的特性等
- ②プロジェクトの背景・目的
 - －プロジェクトの背景・目的、プロジェクトに対する熱意、事業を実施する必要性と考え方、将来像 等

(2) プロジェクトの具体的内容

- ①プロジェクトの具体的内容
 - －プロジェクトの全体スキーム・概要、事業主体、事業費、費用分担、採算性 等
- ②行程表
 - －プロジェクトの実現に向けた行程表

(3) 期待される効果

－事業実施により期待される効果

環境面…CO2削減効果、ヒートアイランド対策、水環境改善効果 等

社会面…地域コミュニティの形成促進、防災機能の強化 等

経済面…地域経済への波及効果 等

(4) 実施体制

・プロジェクトを進める実施体制、参加団体、各団体の役割・体制 等

(5) 他の地域計画との有機的連携

・低炭素まちづくり、再生可能エネルギーの利用、温室効果ガス削減、環境改善、地域活性化等の下水熱利用プロジェクト構想との共通点を踏まえた、その他の地域計画との有機的な連携

5. 募集期間

(1) 募集期間

平成25年7月2日（火）～8月2日（金）

(2) 募集締切

平成25年8月2日（金）17:00必着

※ 締切後の提出は一切認めない。但し、郵便事情等で紙媒体の提出が遅れる場合にあっては、電子メールの到着を提出とみなす。

6. 提案書類の提出方法

(1) 提出方法

提案書類（提案書（様式1）、提案書要約（様式2）及び参考資料）については、郵送により提出すること。

具体的には、以下に掲げるア)及びイ)の資料（紙媒体及び電子媒体）を送付することとし、封筒に「下水熱利用プロジェクト構想提案書類在中」と朱書きで記載すること。

【提出資料】

ア) 提案書類8部（正本1部、副本（写し）7部）

※ 正本1部は、提案書（様式1）、提案書要約（様式2）、参考資料の順で、ホチキス留めせずに、ダブルクリップで綴じること。

※ 副本7部は、両面印刷で申請書の左側2箇所をホチキス留めすること。

イ) 提案書類の電子データを保存した電子媒体（CD-R）3セット

※ 電子媒体のデータは、提案書類（提案書（様式1）、提案書要約（様式2）及び参考資料）ごとに.doc、.docx、.ppt、.pptx、.xls、.xlsx. 又は.pdfの拡張子の形式で保存するとともに、提案書（様式1）及び提案書要約（様式2）については、PDF形式に変換したファイルを保存すること。

(2) 提出先及び問い合わせ先

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課

「下水熱利用プロジェクト構想構築支援事業」公募係

住 所：東京都千代田区霞が関2-1-3

担当者名：深澤、西迫

E-mail：fukazawa-t2rr@mlit.go.jp

TEL：03-5253-8427（企画課直通）

（3）提出資料の取扱い

本支援事業として選定された場合、提出された提案書、提案書概要及び参考資料については、原則公開とする。

7. 審査の方法及び手順

前述のとおり、各提案の審査については「下水熱利用プロジェクト構想構築支援分科会」を設置した上で、当該分科会の有識者により実施し、提案の選定をおこなう。審査結果は非公開とし、審査終了後、個別に採否を電子メールにて連絡する。